

2023 年度 はじめてのいっぽキャンプ 保護者用ハンドブック



千葉 YMCA 環境・野外教育研究所

ごあいさつ

この度は、千葉YMCAサマーキャンプへご参加いただき、ありがとうございます。YMCAは、1844年にロンドンで誕生し、現在では世界120の国と地域に広がり、社会の中で様々な青少年活動を展開しています。日本では1880年（明治13年）に東京にYMCAが設立されました。千葉YMCAは1971年（昭和46年）に設立され、語学教育、健康教育、野外教育、国際交流活動などの事業を千葉県内で展開して参りました。

YMCAのキャンプは1885年に北米YMCAで始まり、キャンプには「精神、知性、身体、社会性」のバランスのとれた成長をもたらす力があることに着目し、さまざまな研究を重ね、発展させてきました。日本では1920年（大正9年）に初めて教育的意図をもったキャンプを実施。以来100年にわたり、子どもたちの「限りなき成長」を願って多数のキャンプを行い、多くの子どもたちにかげがえのない体験を提供しています。

永年の経験からYMCAキャンプは、体験の中で学ぶことができるよう、キャンプの実施にあたって以下のことを大切にしています。

キャンプでは、小集団での共同生活を大切にしています。グループにはボランティアリーダーがついて、子どもたちと24時間行動を共にします。新しい仲間と出会い、大自然の中で力を合わせ、お互いを認め合い、一人ひとりが主役となるような独自の“小社会”を作っていきます。ボランティアリーダーは、主として大学生の青年たちです。安全に楽しくプログラムを実施できるよう理論や実技など多数のトレーニングを受け、数か月前から企画・準備を担います。先生や親とは違う、お兄さんお姉さんとの出会いは、YMCAキャンプの楽しさの一つです。

YMCAでは、食事、入浴、掃除の時間、朝の集い一つひとつが成長の糧となる大切なプログラムと考えています。楽しい生活の中にごく自然に成長の機会が用意されています。そして、ロケーションに合わせたウォータープログラム、ハイキング、ゲーム、キャンプファイヤー、野外料理、クラフトなど、年齢や興味に合わせた多彩な活動を、段階的かつ体系的に組んでいます。自然の中で仲間と一緒にさまざまな活動に挑戦することで、日常とは違う楽しさや達成感が得られます。生涯にわたるかけがえのない経験です。

楽しいキャンプ生活の中に、ごく自然に成長の機会が用意されている、それがYMCAキャンプです。

安全に十分に配慮をしながら、夏のキャンプを実施して参ります。各ご家庭の皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

（一財）千葉YMCA

環境・野外教育研究所 所長
山添 仰



2020年日本のYMCAキャンプは100年を迎えました。特設サイトを設けて「キャンプにまつわるYMCAストーリー」をご紹介します。



Y Camp 100 Stories

キャンプにまつわる100のYMCAストーリー



1.キャンプ実施要綱

キャンプ名	日程	宿泊場所	集合場所/時間	解散場所/時間	担当スタッフ
はじめてのいっぽ キャンプ	7/30(日)～ 31(月)	千葉県少年自然の家 0475-35-1131	現地集合 11時00分～ 11時15分目安	現地解散 14時45分～ 15時00分目安	松原 奈美 (まっつー)

2.集合解散場所について

◆集合解散場所：千葉県少年自然の家駐車場



当日は誘導のボランティアリーダーが立っています。
混雑を回避する為、受付終了後は速やかにご帰宅をお願い致します。

【県道 14 号千葉茂原線側から駐車場にきた場合】

ナビによっては、県道 14 号線から誘導される場合があります。その場合は以下の写真を参考にお進みください。

①



②



千葉茂原線から上の写真の通り右折した場合は 200mほど進むと右手に自然の家駐車場へ繋がる道があります。

③



※②写真に見える角を右折すると、幅減少のポールが立っています。ここを直進すると、左側に自然の家入口・自然の家駐車場の順で見えてきます。

《注意事項》

- ・案内板に注意をしながら進んでください。ナビによっては近隣の「秋元牧場」「くまの森ミュージアム」へ案内をされる場合があります。
- ・ボランティアリーダーが集合時間の15分前から駐車場ゲートに立ちます。それ以前に到着の場合は、自然の家駐車場で待機をお願い致します。
- ・雨天の場合は集合解散場所が変わる可能性があります。(当日連絡)

◆集合時の提出物と確認事項について

【ご提出物】

- ① 出発7日前調査票
- ② 常用薬のある方は、1回毎小分けにしてご提出ください。処方の仕方について担当リーダーが確認を致します。塗り薬についても同様です。また日焼け止めや保湿クリーム等については、自己管理でも問題ございません。こちらでは活動前やお風呂後にお声掛けし、塗れないお子様にはお手伝いを致します。

【確認事項】

- ① 体調の確認
- ② お子様のご様子について（短時間の対応になります。ご了承ください。）

3. プログラム予定

	1日目	2日目
午前		竹の水鉄砲作り 水遊び
午後	施設探検 ザリガニ釣り	振り返り 解散
夜	キャンプファイヤー	

《プログラムについて》

- ・上記予定は、天候その他の理由により、変更となる場合がございます。荒天の場合、屋外プログラムについては、屋内のプログラムに切り替えて実施をいたします。
- ・水遊びは、施設内で実施を予定しております。尚、濡れる可能性がありますので、持ち物欄に記載の「水着・マリンシューズ等」のご用意をお願いします。
- ・屋外プログラムの際に「日焼け止め」「虫除け」のお声掛けをさせていただきます。1人での使用が難しい場合は、お手伝いを致します。

4. 事前電話について

キャンプ前にリーダーより最終確認のお電話をいたします。お子様の健康状態の確認、お子様と担当リーダーとの会話などを目的としております。

ご都合の合わない方は、担当ディレクターまでご連絡ください。ただし、別日程をご希望の場合は、事情によりご希望に添えない場合もございますこと、ご了承ください。

キャンプ名	日程	時間帯
はじめのいっぽキャンプ	7/27（木）	夕方～夜

※事前電話は順次行ないます。各ご家庭への電話がけに時間差が生じます。ご不在の場合には、何度かお電話をさせていただきます。別日を希望の場合はメールにてご連絡をお願い致します。

5. 持ち物 ※持ち物には全て名前を書いてください。

持ち物	数量	備考
Tシャツ・ズボン	日数分+1 セット	お子様の体質に合わせてご用意ください
靴下・下着	日数分+1 セット	必要に応じて多めにご用意ください。
パジャマ	1 着	寝る時だけ着用します。Tシャツ短パン可。
長袖・長ズボン (綿生地推奨)	最低 1 着	キャンプファイヤー時に使用。 火傷・虫刺され対策含む。
水遊びセット (水着・Tシャツ・ 短パン等)	1 セット	学校水着可。水着の上に T シャツやラッシュガードなどを着用下さい。(日焼け・虫刺され予防) 水着上から短パンの着用も推奨いたします。
タオル類	3 枚	入浴後・プログラム中の汗拭き・水遊び後の体拭きで使用します。
濡れてもいい靴	1 足	古いスニーカー・マリンシューズ推奨。 かかとの止まるもの可 (Crocs など) ビーチサンダル不可。
洗面用具	1 セット	歯ブラシセット (必須)
エコバック等	1 セット	お風呂場への移動・屋外への移動時に荷物をいれる用
ビニール袋	適量	汚れた服などを入れます。袋にお名前の記載をお願いします。
新聞紙	朝刊 1 回分	靴が濡れた場合などに使用します。
帽子	1 個	ツバのある物。ハットタイプも可。
雨具	1 着	レインコート・ウェア・ポンチョ等
軍手	1 双	ザリガニ釣り用
筆記用具	—	鉛筆と消しゴムがあれば大丈夫です。
マスク	適量	必要な方はご用意ください。
ティッシュ	適量	
常用薬	必要分	必要な方はご用意ください。
日焼け止め・虫よけ	必要分	YMCA でのご用意はございません。 使用のお手伝いは致します。
お子様用しおり	1 部	7 月 21 日に発送します。

《確認事項》

- ・貴重品 (携帯電話、財布、時計、カメラ、携帯ゲーム等) は、お持ちにならないようお願いします。
- ・出発日 (キャンプ 1 日目) の昼食 (お弁当) は必要ありません。
- ・おやつを持ち込みは出来ません。
- ・活動中お子様のマスクについては、活動中はマスクの着用はいたしません。
- ・水遊びの際には持ち物リストにある水遊びセットを着用いたします。

6. グループについて

YMCA キャンプの基本は、少人数でのグループ生活にあります。4〜7名で1つのグループを作り、担当のリーダーと一緒に生活をします。その中でお互いの存在を認め合い、自分の役割を見つけていきます。いろいろな人と関わって欲しいという願いから、兄弟姉妹や友人同士は別のグループとなりますが人数によって例外もございます。キャンプ期間中、寝食を共にするのがこの生活グループです。グループ発表についてはキャンプ前にお送付する「お子様用しおり」をご覧ください。

7. 指導者について

指導者は、YMCA 職員（ディレクター）とボランティアリーダーです。

＜ボランティアリーダーとは＞

キャンプディレクターの面接を経て、事前に野外活動の実技トレーニング、キャンプの安全や子ども理解などの座学トレーニングを受けた後、キャンプ毎に準備会を持ってキャンプ当日に備えています。リーダーはキャンプ中お子様と一緒に、プログラムだけでなく、寝食を共にし、参加をする子どもたちの身近な存在としてあらゆる場面で関わりを持ちます。その中ではお子様の成長と共に、リーダー自身も成長をしていきます。リーダーは、大学生や社会人、及びジュニアリーダー（高校生）で構成されています。

8. ブログサービスについて

キャンプ中のプログラム全体の様子をブログに掲載の写真でご覧頂けます。

- ・アクセス時、安全管理上パスワードが要求されます。パスワードは参加者様にお手紙で後日お送りを致します。
- ・ブログはパソコン、携帯電話のどちらでも閲覧することができます。
- ・更新回数は、概ね1日4回程度（昼食後・夕食後・就寝後）を予定しております。
- ・ブログサービスにけるお子様の写真使用に関して不都合のある方は、お手数ですが担当ディレクターまでお申し出ください。
- ・写真は携帯電話での撮影のため画像が粗い写真となります。予めご了承ください。

◆ブログアドレス <http://chibaymcablog.blog.fc2.com/>

※キャンプ解散連絡に使用するページも同じです。

※FC2（サービスプロバイダー）について

サービスプロバイダーであるFC2は信頼のおけるプロバイダーです。個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、漏洩等を防ぐために、パスワード管理、バックアップ、管理、セキュリティ対策等を実施し、個人情報の安全管理の為に必要かつ適切な措置を講じています。FC2は無料サービスの為、広告がついていますのでみだりにアクセスしないようご注意ください。



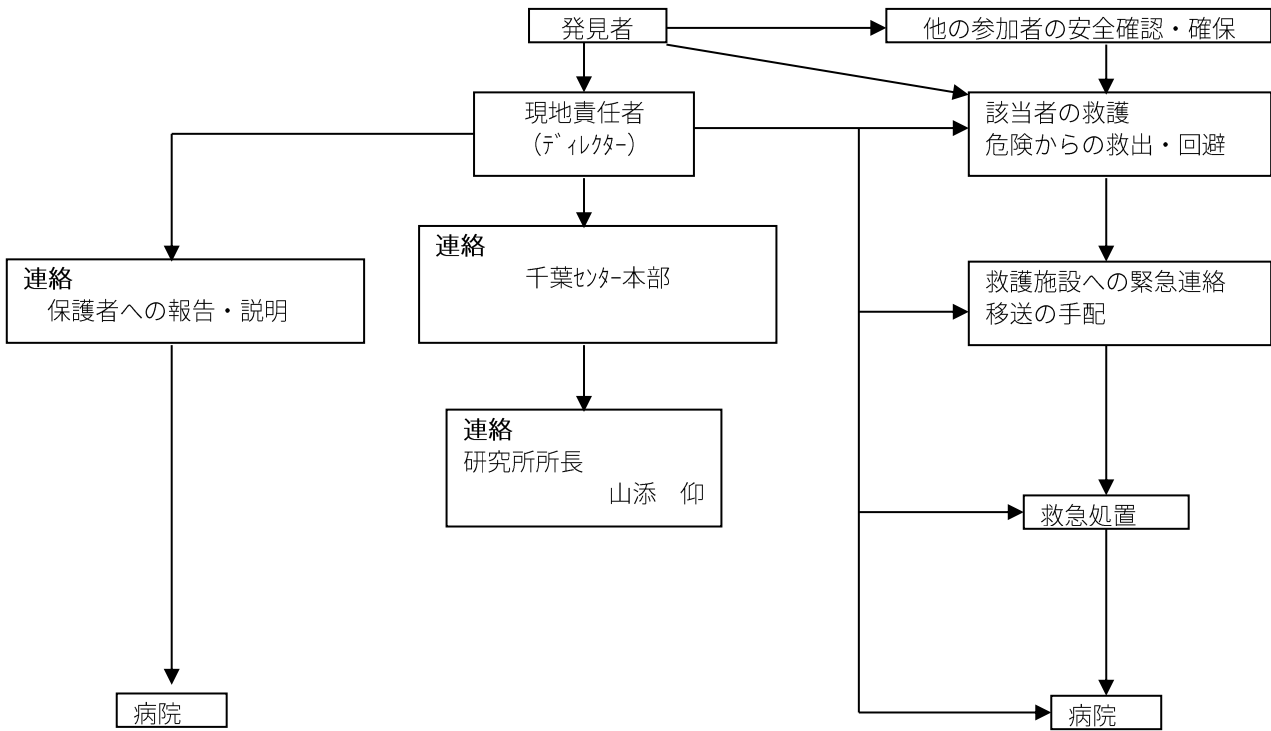
9. 保護者の皆様へ（必ずお読みください）

1. キャンプ間際の病気やケガは、必ず完治した状態、もしくは医師の許可を得てからご参加ください。
2. 安全には十分注意を払っておりますが、万が一、事故が起きた場合には、現地責任者（ディレクター）より直接ご家庭までご連絡をいたします。
3. ご家庭からの緊急連絡は、現地責任者（ディレクター）の携帯電話までお願いします。プログラムの進行状況によっては、すぐに対応できない場合があることをご了承ください。宿泊施設への電話は、個人情報保護のためお取次ぎができません。
4. キャンプ期間中に病気や怪我が発生した場合、医師の判断によってキャンプ地までお迎えに来ていただくことがあります。また、キャンプ期間中の受診にかかった費用は、実費ご負担いただきますのでご了承ください。

- YMCA は団体として傷害保険に加入しております。ケガなどには傷害保険から入院・通院のための費用が補填されます。ただし治療費が保険支払額を超える場合については、各ご家庭でご負担いただきます。（病気の場合は傷害保険の適用はされません。）傷害保険は、自宅を出てから自宅に戻るまでが対象となります。
- キャンプ中に撮影した写真を、ブログサービス更新用、広報用に使用させていただく場合がございます。お子様の写真使用に関して不都合のある方は、お手数ですが担当ディレクターまでお申し出ください。

10．緊急時連絡ルート

YMCA では緊急事態に備え、ディレクター・スタッフ一同、細心の注意を払っておりますが、万が一の場合に、以下のような緊急体制をとっています。



<災害等緊急時の連絡方法について> ※災害等緊急時のみ実施

災害等により緊急事態が発生した際には、その場所が最も安全であると判断した場合には現地に留まり、常時状況を確認の上、必要と判断した場合にはプログラム地から最寄りの指定避難場所等、より安全が確保されている場所へ移動いたします。あわせて、状況に応じて本部より人員を派遣し、キャンプ全体が安全に戻って来られるようにするなど、最大限の取り組みを致します。

また、保護者の皆様へ現地状況等の連絡について以下の方法を適宜実施致します。

- ① キャンプブログにて状況報告
- ② 本部より連絡 ：043-222-3811
- ③ 現地ディレクター携帯電話より連絡
- ④ N T T 東日本災害用伝言ダイヤル

ご利用の流れ： 「171」 → 「2」 → 「宿泊施設電話番号」入力

※ガイダンスに従い入力して頂きますとメッセージが流れます。

キャンプ名	ディレクター	電話番号
はじめのいっぽキャンプ	松原 奈美	090-4747-1634

一般財団法人 千葉 YMCA

千葉センター

〒260-0015

千葉市中央区富士見 2-5-15 塚本第 3 ビル 7 階

TEL 043-222-3811

船橋地域デポ

〒273-0865

船橋市夏見 6-6-6

TEL 047-425-6366